

1 活動名 子ども・青少年・若者支援の取り組み先進地視察（世田谷区）

2 視察の目的

(1) 本市における課題

松本市に子どもの権利条例が制定され5年以上経過する中で、若者を含めた居場所センター拠点の必要性を感じる。よい条例が生かされる取り組みが必要となっている。

(2) 視察の必要性

時間をかけて積み重ねてきている世田谷区の取り組みが生かされた施設を視察し、取り組みを学び松本市の取り組みにいかしたい。

(3) 視察項目

ア 希望丘青少年交流センター「アップス」…青少年の居場所づくり

イ ほっとスクール「希望丘」…不登校の小中学生を支援する教育支援センター

ウ 希望丘保育園…拠点型保育園

3 視察地選定理由

世田谷区が昨年度建設した複合施設は、子どもの育成をサポートする3つの施設（青少年交流センター・ほっとスクール・拠点保育園）が入り、それぞれの特性を発揮しつつ、若者（青少年）に向けた取り組みしている。

4 視察内容

(1) 日時 令和元年11月14日 午後2時30分～午後5時30分

(2) 会場 希望丘複合施設

(3) 出席者2名 田口輝子、横内裕治、

(4) 視察内容

- ・希望丘青少年交流センター「アップス」
- ・ほっとスクール「希望丘」
- ・希望丘保育園

(5) 成果・所感等

本市の子どもの権利条例を生かす基盤としての複合的施設をつくることは、子どもや若者たちにとって重要なこととあらためて認識させられた。松本市で実現するために一般質問や議論の中で提案していきたい。

5 政務活動費

(1) 使途項目 調査旅費

(2) 支出額 74,776円（日当6,000、宿泊費14,800、交通費12,700）×2人
（お土産2,592×3箇所）